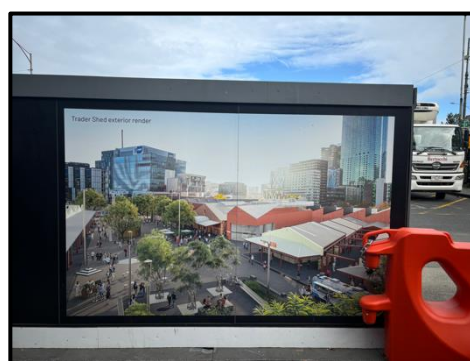


私の名前はアシュリー・キーナンで、メルボルン大学商学部の2年生です。大学の科目のために、STソリューションズオーストラリアでビジネス開発のインターンシッププログラムに参加しています。8月29日に、インターンシップの一つとしてクイーン・ビクトリア・マーケット（以下 QVM）の再開発プロジェクトツアーに行きました。

到着すると、私たちは QVM のチーフインフラストラクチャーオフィサーであるマーク・バレンさんとあって、マークさんがマーケットと周辺の歴史を説明してくれました。マーケット自体は 140 年以上前に建てられて、多くの建物が修復されています。次に私たちは、肉と食べ物のホールを歩き回って、このホールの歴史について話を聞きました。マーケットの歴史について聞くことで、ランチを食べに行く場所に対する感謝の気持ちを持つようになりました。

ツアーはその後も続き、マークさんがシェッドとホール間のスペースをゲストが楽しむための屋外エリアに変える計画を見せてくれました。歴史的な理由でマーケットの一部を変更するのが難しい部分や、また、マーケットを続けるために今働いている部分を変えずに守る必要もあると説明しました。特に興味深かったのは、マーケットのシェッドが 140 年以上前に、アボリジニの墓地の上に建てられたので掘ることが禁止とのことでした。

その後、私たちは別の建設現場に移動し、地下 4 階地上 3 階建てビルを建設中の説明を受けました。このビルのプロジェクトは、店で働く人たちが使うシャワーやオフィスなどのために建てられているそうです。この 2 つのプロジェクトは、マーケットの特徴を守りながら、メルボルン市に頼らずに自立できるように、利用者を増やすために始まったそうです。



そしてツアーの最初の部分が終わって、マークさんと別れました。次に、ラウエラ・フォレストさんが「ザ・パーパス・プレシント」というソーシャル・エンタープライズのプロジェクト説明をしてくれました。このプロジェクトは、マーケットの中に小さなコーヒーショップや洋服屋さんを作り、ホームレスや移民など特に疎外された人々を見守り、そこでの仕事を紹介するものです。現在75の仕事があるそうです。

その中の1つの出店はテストキッチンで、マーケットでの食品廃棄物を減らすために、野菜や果物を長期保存が可能な商品に変えることを目指していました。今日までに、38種類の製品で2000ビンを作り上げています。製品にはジャムからサツマイモの醤油まであり、特にさつまいもの醤油がおもしろいと思いました。

ツアーの最後には、グループが「ザ・パーパス・プレシント」の出店の1つでコーヒーをオーダーしたり、テストキッチンで作られた商品を見ました。その後、他のグループの人と話せて日本語の練習もできました！ツアーに参加し、QVMが取り組んでいるプロジェクトについて学ぶことができ、とても楽しかったです！

